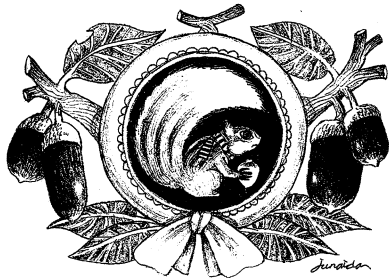


朝日歌壇俳壇



＜日曜日のプロローグ 39＞ junaida

俳句時評 島田五空を再発見

岸本 尚毅

「月かけて三夜にわたる祭かな」は秋田県能代出身の俳人島田五空（一八七五～一九二八）の句。その生誕百五十周年の記念に能代市立能代図書館が昨年、「五空百句プロジェクト」を催した。地元の人々が選んだ「五空百句」をホームページで公開。「みんなて選ぶ五空ベスト俳句」と称し、百句の中から「推句」を選ぶ人気投票を一般に募った。

一月に公表された結果によると計六二八人が投票。うち十代が五一六人。冒頭の「月かけて三夜にわたる祭かな」は秋田県能代出身の俳人島田五空（一八七五～一九二八）の句。その生誕百五十周年の記念に能代市立能代図書館が昨年、「五空百句プロジェクト」を催した。地元の人々が選んだ「五空百句」をホームページで公開。「みんなて選ぶ五空ベスト俳句」と称し、百句の中から「推句」を選ぶ人気投票を一般に募った。

得票数上位の句には「波もなし秋をきはめて海の色」などの佳品が並ぶ。淡泊な筆致で晩秋の静かな海の様子を捉えた句だ。あるがまゝに消ゆるがまゝに残る雪」も多くの人の共感を得た句。「残る雪」は春の季語。「あるがまゝ」は雪国の人々の実感だろう。

竹柏会「心の花」編集部編「佐佐木幸綱の一首」 第1歌集「群衆」～第17歌集「テオが来た日」を対象に俳人・金子兜太を含む多彩な書き手が鑑賞。（ながらみ書房・3300円）
吉川宏志著「一九七〇年代短歌史」 1969年生まれが70年代のトピックを取り上げながら当時の歌や評論を丹念にたどる。巻末に関連年表と索引。（短歌研究社・3300円）

☆は共選作。入選作はデジタル版などにも掲載・収録し、記事やSNSで引用することがあります。投稿は未発表の自作のみ、二重投稿不可。選者が添削する場合があります。郵便での投稿は無地のはがき1枚に1作品、横に住所、氏名、電話番号を明記。〒104-8661 晴海郵便局私書箱300、短歌は「朝日歌壇」、俳句は「朝日俳壇」へ。ネットからも投稿でき

佐佐木幸綱選

☆赤電話電報夜汽車木賃宿 清張読みつつ昭和を旅す
（松山市）三島誠以知
夫の死を知らずに声をかけしとふその似た人に会ひたりけり
（盛岡市）渡辺 恭
男らが「老けた」「禿げた」の大合唱おけても禿けてもわれらは同期（横浜）島巡 陽一
この町にどつしりと立つ丸ポスト落ちゆく時の音も楽しい
（倉吉市）砂原 誠子
ここが居間ここが玄関ききききと長靴に踏み更地の雪を
（羽中市）北野みや子
自転車が進む小径の幅ほどに今昇りくる大満月
（藤沢市）鮫島ちひろ
アルバムの若い父母に盛り上がる二人のいな
い初正月
（豊川市）今泉 昌子
いじめられしマウス同士を集めればまた新たないじめが起きぬ
（金沢市）竹内 一二
☆メビウスの輪のことを考えながら手綱こんにやく作り手伝う
（奈良市）山添 聡介
五番街のマリーを歌う和尚いて山のみ寺は二
（静岡市）首藤絃一郎

【評】第一首、松本清張のボキャブラリーが、昭和という時代のものであったことにスポットライトを当てて、鋭い。第二首、亡き夫に似た人をクローズアップした視点の斬新さ。第三首、同級生たちの集まりの賑やかさが目に浮かぶ。

高野公彦選

被災地のなにもともなき元日にゆっくり味わう小半の酒
（石川県）瀧上 裕幸
八十年都会に暮らし移住して山と海とに清められをり
（静岡市）山本美智子
新潟の冬は雨かんむりのそら 英三田敷云
日替わりに
（新潟市）太田千鶴子
元日の新聞6紙買い求め新聞三味の三箇日
（八千代市）砂川 壮一
猛獣がおいしい獲物を狙うと大きい国ほど領土欲しがる
（敦賀市）竹内 展子
☆赤電話電報夜汽車木賃宿 清張読みつつ昭和を旅す
（松山市）三島誠以知
さまざまな屋敷の匂いとにぎわいと猿沢池をぐるりと囲む
（奈良市）山添 聖子
「AIも間違える」との見出しあり人間よりも信頼されて
（魚沼市）磯部 剛
初めての七草粥はフリーズドライでどこの草分らずまい
（神戸市）田中美紀子
☆メビウスの輪のことを考えながら手綱こんにやく作り手伝う
（奈良市）山添 聡介

【評】1首目、被災時を思い出しつつ小半（2合5勺）の酒を味わう。2首目、西伊豆町に移住して山や海に癒やされる作者。3首目、新潟の冬は雨かんむりのそら。4首目、読み方はエイ、ヨ、デン、サン、ウンか。

永田和宏選

怒ってもいいことだった気づくのはいつも深夜の浴槽のなか
（上尾市）関根 裕治
上野駅十五番線の啄木碑会ひにゆきたくるとき
（東京都）唐木よし子
鉛筆を穴に差し入れ緩み取り聞いた昭和のカセットテープ
（観音寺市）篠原 俊則
早朝の静かなビルのモップがけ大海日でも三箇日でも
（横浜市）田中 廣義
羽のごと枯れ葉を付けた天蓋の枝の宙吊りの繭
（松阪市）こやまはつみ
腐線が能登の過疎化に拍車かけ地震と豪雨が追討ちかける
（石川県）瀧上 裕幸
☆モナ・リザのジグソーパズルはめゆればわれも謎めくピースのひとつ（仙台市）沼沢 修
戦なき国に育ちし少年の投げたボールの放物線は
（安城市）唐澤 うに
ずるいよね「母さんいつもありがどう」誰も消せないそんな落書き（久留米市）塚本 恭子
「はあ」から並びをええとそれだけで我呼ぶ孫の「はあはあはあ」（栃木県）永森 朋子

【評】関根さん、あの時爆発できていればと後になって思うこと頻り。損な性格だが誰にも思い当たるところが。唐木さん、何年経っても無性に古里が懐かしくなる時がある。篠原さん、上句の具体が巧い。まさに昭和のカセットはそうだった。

川野里子選

ブラチナの指輪換金した店のガラス扉ひらきて顔まぶたつ
（箕面市）大野美恵子
年賀状、墓に実家に店じまい、皆んなが日本を片付けた
（横浜市）西前 敦子
☆モナ・リザのジグソーパズルはめゆればわれも謎めくピースのひとつ（仙台市）沼沢 修
押しボタン式の信号青になりゆっくり渡るモーズのごとく
（横浜市）杉本 恭子
人間のいない時代にいつだって戻りますよと雪降り続く
（函館市）中屋敷 歩
与那国にバイリンガルの人ゐる風語、馬語を自在に熟す
（長野県）千葉 俊彦
己れ失うほどの怒りの文面の執事のごとく正すAI
（京都府）片山 正寛
聞き込みの刑事が真理置いてゆく知らないことも大事ですよ、と
（京都市）奥田佳代子
「栄養のあるもの食べて」と連絡が来るときいつも食べるラーメン（横浜市）上野 りな
吹く風を残して消えた青い鳥みたくに見えた何かの袋
（横浜市）佐藤 隆司

【評】一首目、大事な指輪を売った直後の動揺が伝わる。二首目、きれいに片づいた後が気になる。三首目、欠けているモナ・リザの顔に見ているのは自分自身。四首目、全ての車を止め大きな道路を渡る。十首目、消えたものこそ良きものか。

風信